

現在社会人として活躍する・
これから社会人として巣立つ

研究生からの メッセージ

- ①宮城大学事業構想学研究所に就学を決めたきっかけは？
- ②仕事と就学の両立で工夫していることは？
- ③宮城大学事業構想学研究所で得たもの・仕事で活かした経験を教えてください。
- ④研究科を志望する方へ、メッセージを一言！



博士後期課程
産業・事業システム領域 事業計画系
金子孝一研究室

花房 輝彦さん
(東京電力㈱ 経営技術戦略研究所
省エネルギー技術グループ勤務)

スペシャリストをめざして！仕事で活かせる知識や人脈が広がります。

＜研究分野・テーマ＞ フードサービス業界におけるエコを基軸とした新しい企業戦略策定法の提案

- ①仕事で、フードサービス業界に向けて「省エネ・省力・省資源」をめざした設備側のイノベーションによる商品開発を進めてきましたが、ぜひビジネス展開のプロジェクトマネージャーとして貢献したく考えました。事業構想学部があるのは宮城大学のみであり、事業構想学研究所に事業構想に精通した教授がいっぱいだったため。
- ②研究分野・テーマが仕事の内容に近いので、仕事をしながらも就学の研究分野・テーマを常に頭に置き、仕事と就学の相乗効果が上がるようにしています。
- ③仕事上当たり前で使用している用語について、誰に対しても正確に伝わるよう丁寧に使うことや、事業戦略については大所・高所から俯瞰すること、博士論文については文献や調査資料に基づき思考ロジックを明確にすることを教わりました。
- ④各分野の事業に精通した教員が親身になって相談のってくださいますので、社会人としての知識・人脈の幅が広がります。時代の変化が目まぐるしい中、時代を一步先取りした新しい事業構想を立ててみませんか？

「学びたい」という気持ちを大事に！踏み込めば世界が広がる！

＜研究分野・テーマ＞ まちづくりにおけるパートナーシップのあり方に関する研究

- ①もともと、事業構想学部の学生としてH25年度に卒業しました。学部のあるときは、さまざまな地域に関わらせていただきながらまちづくりを学びました。その後、現在の職場に就職し、仕事である市民活動の支援を通して地域づくりに携わる中で、学部で学んできたことの意義を再認識し、仕事として地域と向き合うためにも、実践と学術の両面から学びを深めたいと思い就学を決めました。
- ②勤務体制の都合上、生活スタイルが不規則になりがちなので、できるかぎり体調管理には気をつけています。また、仕事の研究分野と近いこともあり、学んだことをどう仕事に活かせるか、経験したことをどう研究に活かせるかを意識し、限られた時間で研究や課題を進められるよう心掛けています。
- ③宮城大学では自分と同じ分野の人だけでなく、違う分野の方と接する機会も多く、また、年代の違う方々とともに学ぶことで、いろいろな視点や考え方も学ぶことができ、楽しいです。
- ④私自身、たくさんの方が背中を押してくれたこともあり就学に踏み出しましたが、不安なこともたくさんありました。しかし、自分のなかにある「学びたい」という気持ちを大事にして飛び込んだことで、世界が広がったと感じています。宮城大学は、「学びたい」という気持ちを応援してくれて、多くの学びが得られる環境だと思っています。



博士前期課程
ビジネス・プランニング領域
風見正三研究室

佐藤 加奈絵さん
(特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター勤務)

発想力・行動力を身につけるための環境が整っています！

＜研究分野・テーマ＞ デジタルゲームを用いた高齢者コミュニティ形成の一考察

- ①決め手は探究心です。学部4年間ではゲームの教育的利用について勉強、研究してきました。今まで娯楽として接してきたゲームに娯楽以外の価値を見出すというテーマは予想以上に幅広く展開できるものでした。教育的利用の他にどのような用途があるのかと考えて、コミュニティツールとしての役割に興味を持ちました。このテーマを軸に色々な事を勉強、研究したいと思ったのが大学院に進んだきっかけでした。
- ③宮城大学事業構想学研究所で得たもの、今後の仕事で活かしたい経験等があれば教えてください。
授業の中で得たゲーム開発の技術もさることながら、多彩な教授陣はじめ、学内外様々な人たちと交流を持ち、自分の中の世界観や視野を広げることができたのが大学院で過ごした2年間で得た財産です。技術や知識は一人で勉強することもできますが、それを活かすための発想力、行動力を身につけることは一人では難しいと思います。そんな発想力や行動力を身につけるための環境が整っています。大学院で培った、やりたいことを形にする力、それを実行する力はこれからの私の強力な武器になると確信しています。
- ④学部生みなさん、いま自分が取り組んでいる課題や生活のなかで何か気になったことはありませんか？それはどんな些細な事でも構いません。少しでも「おや？」と思ったことがあれば、それは大学院での研究テーマに繋がります。そしてそのテーマについて知識を深めていくことで、他人は持っていない“自分だけの武器”になると思います。あなたの中に眠る原石を研究科で宝石へと磨き上げてみてはいかがでしょうか。



博士前期課程
情報デザイン領域
時苗研究室

加藤 祥基さん

入学資格審査Q&A

Q 入学資格審査とは何ですか？

A 大学を卒業していない方や修士の学位をお持ちでない方も、一定の基準にあてはまる場合に、本学大学院への入学資格を認めるかを個別に審査する制度です。

Q 大学を卒業していませんが、大学院博士前期課程に出願できますか？

A 【Aさん(B職業校在学)の事例】

Aさんの場合、提出書類により、在学中の学校での成績や修得単位数、建築士免許の取得、設計コンクールでの表彰などが確認され、大学を卒業した者と同等以上の学力があると判断されたため、入学資格が認められました。

Q 修士の学位がありませんが、大学院博士後期課程に出願できますか？

A 【Cさん(D大学卒業)の事例】

Cさんの場合、提出書類により、D大学での成績のほか、学会等での論文(5件)や著書の発刊、プロジェクト等の実績が確認され、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると判断されたため、入学資格が認められました。

注:紹介している事例はあくまでも一例であり、個々のケースによっては、必ずしも入学資格が認められるとは限りませんのでご注意ください。入学資格審査に申請する場合は、必ず募集要項をよく読み、入学資格審査申請期限までに書類を提出してください。